

ベーコン

2019 年本試

問 2 次のア・イは，ベーコンによるイドラについての説明であるが，それぞれ何と呼ばれているか。その組合せとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 

30
----

ア 人間相互の交わりおよび社会生活から生じる偏見。例えば，人々の間を飛び交う不確かな噂<sup>うわさ</sup>を，事実であると信じ込むこと。

イ 個人の資質や境遇に囚<sup>とら</sup>われることから生じる偏見。例えば，自分が食べた慣れた好物を，誰もが好むに違いないと思込むこと。

- |   |   |        |   |        |
|---|---|--------|---|--------|
| ① | ア | 種族のイドラ | イ | 劇場のイドラ |
| ② | ア | 種族のイドラ | イ | 洞窟のイドラ |
| ③ | ア | 市場のイドラ | イ | 劇場のイドラ |
| ④ | ア | 市場のイドラ | イ | 洞窟のイドラ |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 2	30	④	3

2015 年本試

問 2 ベーコンの著作と思想についての説明として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 

30
----

- ① 『プリンキピア』を著し，地上から天体までのあらゆる自然現象の運動を説明し得る根本原理を発見することで，古典力学を確立した。
- ② 『プリンキピア』を著し，理性を正しく確実に用いることによって普遍的な原理から特殊な真理を導き出す演繹法を提唱した。
- ③ 『ノヴム・オルガヌム』を著し，事実に基づいた知識を獲得する方法として，経験のなかから一般的法則を見いだす帰納法を重視した。
- ④ 『ノヴム・オルガヌム』を著し，懐疑主義の立場から，自己の認識を常に疑う批判精神の重要性と，寛容の精神の大切さを説いた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 2	30	③	2

2013 年本試

問 2 次のア～エはベーコンが「イドラ」と呼んで批判した様々な先入見についての記述である。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 

31
----

ア 種族のイドラは、人間相互の交わりや社会生活から生じる。

イ 劇場のイドラは、伝統や権威を鵜呑みにすることから生じる。

ウ 洞窟のイドラは、人間に共通する自然的な制約から生じる。

エ 市場のイドラは、各人が各様にもっている経験や知識から生じる。

① ア 正    イ 正    ウ 誤    エ 正

② ア 正    イ 正    ウ 誤    エ 誤

③ ア 正    イ 誤    ウ 正    エ 正

④ ア 正    イ 誤    ウ 正    エ 誤

⑤ ア 誤    イ 正    ウ 誤    エ 正

⑥ ア 誤    イ 正    ウ 誤    エ 誤

⑦ ア 誤    イ 誤    ウ 正    エ 正

⑧ ア 誤    イ 誤    ウ 正    エ 誤

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 2	31	⑥	2

2010 年本試

問 3 ベーコンが批判した四つのイドラの記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 

25
----

- ① 種族のイドラ：人間は、正確な感覚や精神を具<sup>そな</sup>えているが、個人的な性格の偏りや思い込みによって、事物の本性を取り違える可能性があるということ
- ② 洞窟のイドラ：人間は、種に特有の感覚や精神の歪<sup>ゆが</sup>みを免れ得ないため、人間独自の偏見に囚<sup>とら</sup>われて、たやすく事物の本性を誤認してしまうということ
- ③ 市場のイドラ：人間は、他者との交流の中で人が発した言葉を簡単には信頼しないため、しばしば真実を見失い、不適切な偏見を抱きやすいということ
- ④ 劇場のイドラ：人間は、芝居等を真実だと思い込むように、伝統や権威を盲信して、誤った学説や主張を無批判的に受け入れてしまいがちだということ

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 3	25	④	3

2009 年 追試

問 2 近代科学において自然を探求した人々がとっていた考え方の一つに帰納法がある。その例として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

32

- ① 冷蔵庫から、いつ買ったのか忘れた卵が 1 パック出てきた。9 個割ってみたら全部傷んでいたから、残りの 1 個も傷んでいるに決まってるよ。
- ② 以前から計画していたジャングルの生態系調査に来てみたら、目の前に飢えた虎がいる。戦っても逃げても、結局助からないだろう。
- ③ 天王星の公転軌道が、天体力学での計算上の軌道と合わなかったのもので、その外側にもう一つ惑星があると予測したら、海王星が発見できたんだよ。
- ④ 宇宙にはこれだけ星があるんだから、地球と同じ環境の惑星があったとしたら、そこにはきっと私たちと同じ人類が住んでいるよね。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 5 問	問 2	32	①	3

2008 年本試

問 2 自己中心的な態度と共感的な態度とは、「他人」に対してのみならず「自然」に対しても考えられる。自然に対する人間の態度について述べた次の文章中の  ～  に入る人名の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

は、事実から法則を導き出す方法を提唱して、「自然は服従することによらなくては征服されない」と言い、また  は、精神と物体とを明確に区別しつつ、「我々を自然の所有者にして主人となしうるような実践哲学」があると言って、人間中心主義の考えから自然の支配を正当化した。これに対して、人間を工作人(ホモ・ファール)と定義する  は、「哲学者は自然を仲間として扱い、……服従も征服もせず、共感しようとする」と述べて、科学的な知性による過度の自然支配を批判した。

- ① a ベーコン    b デカルト    c ベルクソン  
② a ニュートン    b パスカル    c ホイジンガ  
③ a ベーコン    b デカルト    c ホイジンガ  
④ a ニュートン    b パスカル    c ベルクソン

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 2	24	①	3

2006 年本試

問 3 フランシス=ベーコンの立場をあらわした「知は力なり」という言葉の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 24

- ① 自然を人間の生命と 繋<sup>つな</sup>がる生きたものと見る知が，人類に自然を支配する力を与える。
- ② 種族のイドラなど，四種のイドラに基づく知が，人類に自然を支配する力を与える。
- ③ 自然に服従することによって初めて発見される知が，人類に自然を支配する力を与える。
- ④ 確実な真理から推論によって必然的に導かれる知が，人類に自然を支配する力を与える。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 3	24	③	3

2002 年本試

問 3 近代的な学問の理論を確立しようとしたベーコンの考え方の記述として最も  
適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 14

- ① 人間の精神は，生活に役立つ知識を獲得するために，先入見を排除して  
自然を観察する必要がある。
- ② 人間の精神は，感覚に囚われることなく，かつて見ていた真実在を想起  
することによって真の知識を獲得できる。
- ③ 人間の精神は，何も文字が記されていない白紙のようなものなので，知  
識の材料となる観念は経験によって獲得される。
- ④ 人間の精神は，身体とは独立に存在しうることが証明できるものであつ  
て，世界の体系的認識の出発点となる。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 3	14	①	3

2000 年本試

問 2 ベーコンによる従来 of 学問への批判を記述したものとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 

18
----

- ① 従来 of 自然学ではさまざまな偏見によって正しい認識が妨げられてきた。だが、人間が自然を技術的に支配するためには、偏見を排し、実験や観察によって個々の経験的事実から一般的法則を発見することが必要である。
- ② 知識は人間生活から離れた不変 of 真理を捉えたものだとする偏見が、従来 of 学問を支配してきた。だが、知性は問題解決に役立つかぎりでのみ意味をもつ of ため、知識は常に生活の中で試され改善されなければならない。
- ③ 哲学 of 仕事は世界を解釈することだという偏見に従来人々は囚われてきた。だが、大切なのは科学的認識によって世界を変えること of ため、そうした実践的目的 of 基礎となるように哲学を作り変えなければならない。
- ④ 雄弁術や詩作は天賦 of 才に左右され、また従来 of 道徳論は徳 of 認識 of 仕方を教えない。だが、真偽を区別する理性 of 力は万人に平等に与えられているから、順序よく考えていけば、学問において誰でも正しい認識に達しうる。
- ⑤ 古代 of 学説を繰り返し、それに注釈をつけることが学問だとされてきた。だが、神は自然物を人間 of ために創った of ため、神 of 意図 of 探求を自然研究 of 方法と合致させること by によって、学問は生活に役立つものとなる。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 2	18	①	3